

学芸大学外国語・外国文化研究講座
多文化共生とダイバーシティー「在日韓国朝鮮人と多様性」について

補足資料

—第20回私塾・清里銀河塾—

学芸大学外国語・外国文化研究講座

公開講演・多文化共生とダイバーシティー「在日韓国朝鮮人と多様性」について

2023年6月5日（月）16：30～18：30 N304号室

講師：河正雄

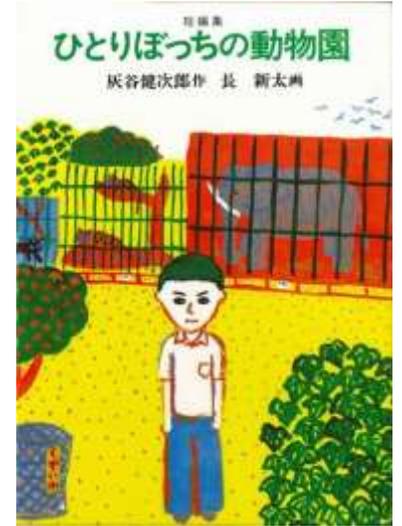
1. はじめに

灰谷健次郎「一人ぼっちの動物園」

(はいたに けんじろう、1934年(昭和9年)10月31日 - 2006年(平成18年)11月23日)

日本の児童文学作家

代表作： 『兎の眼』 (第8回日本児童文学者協会新人賞、第1回路傍の石文学賞)
『太陽の子』 (第1回路傍の石文学賞)
『ひとりぼっちの動物園』 (第27回小学館文学賞)



武者小路実篤

むしゃのこうじ さねあつ、旧字体: 武者小路 實篤、1885年〈明治18年〉5月12日 - 1976年〈昭和51年〉4月9日) は、日本の小説家・詩人・劇作家・画家。貴族院勅選議員。華族の出で、トルストイに傾倒し、『白樺』創刊に参加。天衣無縫の文体で人道主義文学を創造し、「新しき村」を建設して実践運動を行った伝記や美術論も数多い

大田堯 (たかし)

おおた たかし、1918年3月22日[1] - 2018年12月23日[2]) は、日本の教育学者
東京大学名誉教授、都留文科大学名誉教授。日本子どもを守る会名誉会長
シュールレ大学アドバイザー、専攻：教育学、教育史、教育哲学



2. 河正雄の生

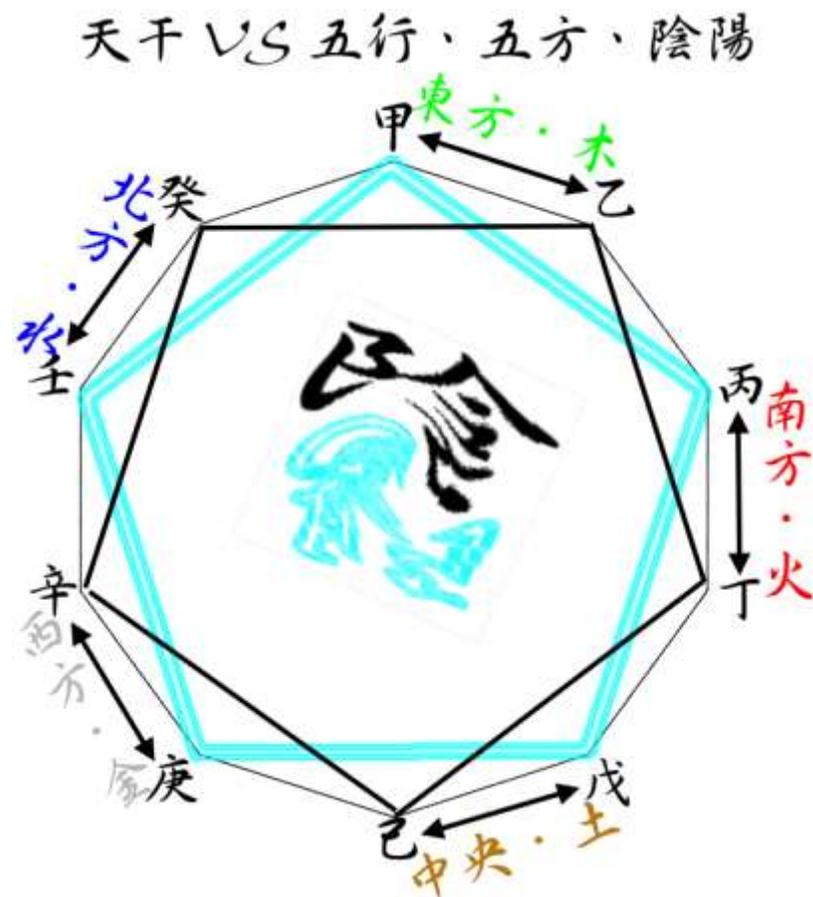
ディアスポラ

「移民」「植民」を意味する思想用語。ギリシャ語のディア（分散する）とスピロ（種をまく）を語源とする。かつては主にユダヤ人・ギリシャ人・アルメニア人の歴史的離散に限定して使用されていたが、現在ではより広義に移民コミュニティ一般を指し示すようになった

四柱推命鑑定

（しちゅうすいめい）は、中国で陰陽五行説を元にして生まれた人の命運を推察する方法である。

「四柱推命」という呼称は、中国の原書に見ることができない。英語圏で"Four Pillars of Destiny" もしくは "Four Pillars Astrology" と呼ばれているように、既に世界的に使用されている。中国では、「子平」「三命」「命学」「命理」「八字（パーツー）」、韓国では「四柱命理（사주명리）」「四柱八字（사주팔자）」などと呼ばれる。



3. コンセプトは「祈り」



向井潤吉

(むかい じゅんきち、1901年（明治34年）11月30日 - 1995年（平成7年）11月14日）は、日本の洋画家、戦前から戦後にかけて活躍、40年以上に渡り北海道から鹿児島までを旅し、生涯古い民家の絵を描き続け「民家の向井」と呼ばれた洋画家

全和凰『弥勒菩薩』

(チョン・ファファン、ぜんわこう) 1909年-1993年は、韓国の油彩画巨匠として知られ、「祈り」をテーマとした多くの菩薩画を描いた

平安南道に生まれ、20歳で朝鮮美術展入選

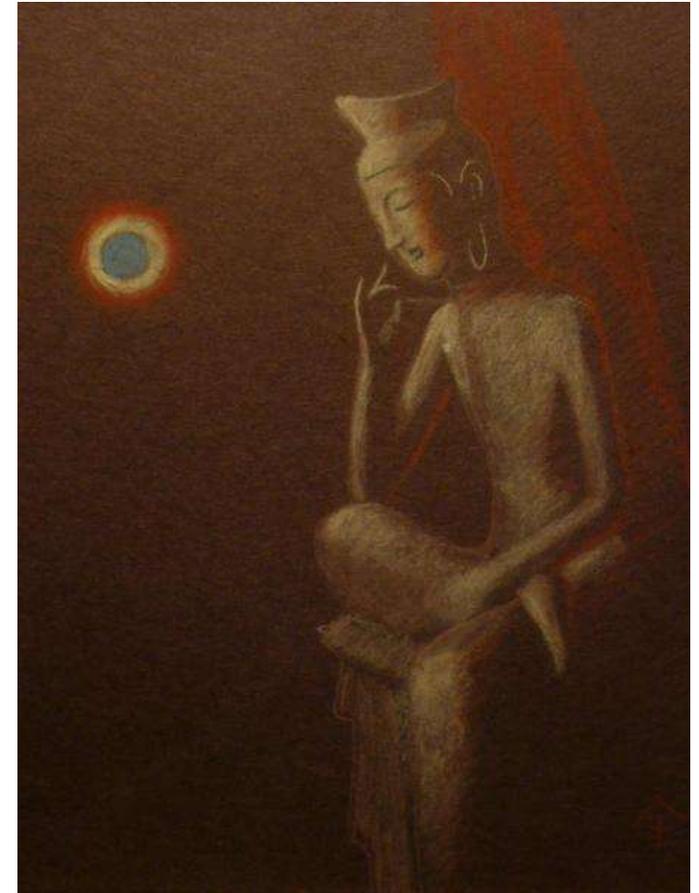
須田国太郎に師事

行動展受賞

パリ・ル・サロン展入選

画業50年展を東京・京都・ソウル・光州等で開催

http://www.inori-ha.com/art1_10.htm



3. コンセプトは「祈り」

日本アンデパンダン展

(Salon des indépendants) は、無審査・無賞・自由出品を原則とする美術展、1884年にフランスのパリで初めて開催され、その後、世界中に広がった、別組織による同じアンデパンダンの名を冠した独自の展覧会が日本など世界各国で開催、今年の日本アンデパンダン展は国立新美術館3月に開催された



曹良奎

(チョヤンギョ 1928～～没年不詳) 分断国家の政治と韓日の不幸な歴史背景が生んだ社会性の強いリアリズム画家

プロレタリア美術への関心から政治活動に参加、1948年日本へ密航、日本アンデパンダン展、自由美術展などに出品し、1953年文芸同での活動を開始、社会性を主題とした「マンホール」等の連作を発表、1960年、新潟から北朝鮮に渡り、チェコスロバキアに美術留学、帰国して短期間の活動の記録を残して、消息不明に

宋英玉『闘牛』

1917年、済州島で生まれた宋英玉は小学校のとき、父親を訪ねて大阪に渡り、57年からは東京で自由美術協会展と平和美術展を舞台に作品活動、99年没

「在日朝鮮人の悲しみ、南北対立の苦痛、現実の辛い人生が投影された宋英玉の作品は、縛りつけられた現代史をそのまま見せてくれる」光州市立美術館の趙真湖 (チョ・ジンホ) 館長

宋英玉
『闘牛』
の絵は
ありますか？



4. 田沢湖の姫観音

田沢湖 姫観音

昭和15年、国策によって玉川の強酸性の水を田沢湖に導入し貯水ダムとしたため、田沢湖の多くの魚が死滅しました。滅びゆく魚と湖神たつこ姫の慰霊のため、建立されたとされてきたが、1991年に河氏によって田沢寺に眠っていた“朝鮮人無縁仏と姫観音の建立趣旨書”が発掘され、田沢湖、生保内、夏瀬発電所建設に係わる隧道掘削工事及び、導水路の工事犠牲者を慰霊するために建立された事が裏付けられた



隧道掘削工事

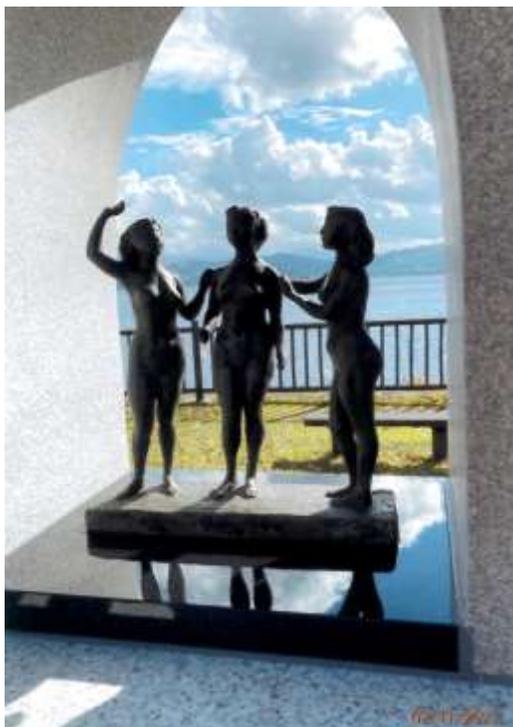
トンネルと隧道(ずいどう・すいどう)は同じ意味であり、違いはない、最近では、一般的に「トンネル」と呼ばれることが多い



4. 田沢湖の姫観音

田沢寺に眠る朝鮮人無縁仏と姫観音の建立趣旨書を発見
(1991.6.21)

<https://www.ha-jw.com/memorial/himekannon/>



田沢湖畔御座石園地
「ふるさとの碑・平和の群像」

5. 私塾・清里銀河塾について

小林秀雄（文芸評論家）

（こばやし ひでお、1902年〈明治35年〉4月11日- 1983年〈昭和58年〉3月1日）は、日本の文芸評論家、編集者、作家、美術・古美術収集鑑定家。晩年は保守文化人の代表者であった。[要出典]アルチュール・ランボー、シャルル・ボードレールなどフランス象徴派の詩人たち、ドストエフスキー、幸田露伴・泉鏡花・志賀直哉らの作品、ベルクソンやアランの哲学思想に影響を受ける。本居宣長の著作など近代以前の日本文学などにも造詣と鑑識眼を持っていた



安倍能成著

「青丘雑記」（1932年、岩波書店）「浅川巧さんを惜しむ」
（あべ よししげ、1883年〈明治16年〉12月23日- 1966年〈昭和41年〉6月7日）は、日本の哲学者[3]、教育者、政治家。法政大学教授、京城帝国大学教授、第一高等学校校長、貴族院勅選議員、文部大臣、貴族院帝国憲法改正案特別委員会委員長を歴任し、学習院院長などを務めた



5. 私塾・清里銀河塾について

浅川巧：浅川伯教・巧兄弟

（あさかわ のりたか、1884年（明治17年）8月4日 - 1964年（昭和39年）1月14日）

（あさかわ たくみ、1891年（明治24年）1月15日 - 1931年（昭和6年）4月2日）

朝鮮の文化・民族を日本の国策として差別していた時代、
当時の日本人は気づくことがなかった朝鮮庶民の陶磁器・工芸品の美しさを日本へ紹介し、朝鮮へのその愛情によって現在も日韓の架け橋となっている兄弟

兄伯教は、庶民が日常使う白磁の美しさと出会い、
半島700ヶ所に及ぶ古陶磁の窯跡（かまあと）を丹念に調査・研究し、朝鮮陶磁を時系列でまとめた

弟巧は、半島の荒廃した山々の緑化に尽くし、
市井の朝鮮人とよく交わり、
庶民が日常使う木工品などのすぐれた美しさを知り、それを日本に伝えた
1931（昭和6）年に亡くなり、朝鮮の人々の共同墓地に、朝鮮の人々の嘆きの中に葬られた



5. 私塾・清里銀河塾について

露堂堂

【禅語】 露堂々（ろどうどう） 「露」というのは「あらわれる」の意で、「真理ははっきり堂々と目の前にあらわれている」といった意味で、真理を探そうと思うなら、その探し物は自分の目の前にすでに堂々とあらわれている、人間の盲点を指摘し目を開かせようとする禅語

この言葉は哲学者・教育者の安倍能成がつづった浅川巧への追悼文「その人間の力だけで露堂堂と生き抜いていった」にあり、河氏は秋田県立工業高校3年の時にこの言葉に感動し、「在日」として生きる上での哲学としてきたとされる

禅語としての「露堂堂」には解釈があが、河氏にはそれを「良いことをすれば良い結果が表れ、悪いことをすれば必ず悪い結果が起こる」と解釈、浅川巧への憧れと感謝の念を抱いた河氏は後にその足跡を追うようになり、地元の山梨県北巨摩郡甲村五丁田（同郡高根町を経て、現在は北杜市）にその顕彰碑がないことを残念に感じ、「シンボルとしての碑を残さねば」と建立を長年思い描いてきた

<https://www.ha-jw.com/japan/asakawa/asakawatakumi/>

5. 私塾・清里銀河塾について

浅川伯教・巧兄弟顕彰碑建立

毎日新聞 2021/6/12 地方版

浅川兄弟の顕彰碑、北杜市に寄贈 国際親善の精神、後世に
在日韓国人2世の河さん /山梨

<https://mainichi.jp/articles/20210612/ddl/k19/040/161000>

[c](#)

資料館前広場をミニ庭園化した写真もしくは
は構想図ありますか？



北杜市は京畿道抱川郡姉妹都市締結20周年を記念し、資料館前広場をミニ庭園化することとなった

5. 私塾・清里銀河塾について

ポール・ラッシュ博士

清泉寮

ポール・フレドリック・ラッシュ（Paul Frederick Rusch 1897年11月25日 - 1979年12月12日）は、アメリカ合衆国インディアナ州出身の教育者、牧師。親日家として知られ、日本に多くの業績を残し、戦後の日本の復興に多大な貢献をした。後に清里開拓の父と呼ばれるポール・ラッシュが指導した、KEEP（Kiyosato Educational Experiment Project：清里教育実験計画）の一環としての日米協会青年活動による、キリスト教研修の中心施設であった清泉寮は、現在ではロッジ、コテージ、レストラン、キャンプ場などを有する宿泊・研修施設として知られる。



須田寿「牛を売る人」

（すだ ひさし、1906年5月25日 - 2001年1月24日）日本の洋画家。東京都出身。旧姓は門井。東京美術学校卒業。長原孝太郎、和田英作、阿以田治修などに師事。武蔵野美術大学名誉教授。元創元会会員。立軌会の創立者。